

葛ヶ丘地区まちづくり計画(案)

1 計画策定の目的

葛ヶ丘地区は全区域が住宅街となっています。当初、静岡県企業局が山地を造成し、県営住宅団地として分譲しました。のちにオレゴンビレッジが合流し、現在の姿を形成しています。

地域の特徴として、同時期に居住した方々が多く、他地区よりも高齢者の方が多く住まわれていることが挙げられます。葛ヶ丘地区は、このように街が形成されてきているため、古い習わしもなく、みんなで地域のことを考え、みんなでまちを築いてきました。近年、急速な少子高齢化が進む中、これからの葛ヶ丘のあるべき将来像を考え、人と人とのつながりを大切にしながら、互いに支えあい、協働によるまちづくりを推進していく必要があります。無理な計画を立てず、目標に向かってできることをやり、その積み重ねがまちづくり、人づくりにつながると考えます。

2 計画の進め方

誰もが安心して暮らし、住みたくなるようなまちの実現に向け、具体的に取り組む事業を盛り込んだ中期計画を策定し、その計画に基づいて実施し、年度ごとにその評価を行い、見直し・改善を図ることにより目標に近づけるように努めます。

3 計画期間

令和2年度から令和7年度までの6年間とします。ただし、途中見直しを検討します。

4 葛ヶ丘地区の現状把握

(1)葛ヶ丘地区の概要

住宅団地として誕生して約40年が経過しました。河川はなく、洪水などの災害の心配はありません。団地内には医院、保育園、薬局型スーパーがあります。住宅団地ができたときの世代が高齢化を迎え高齢化率の高い地区となっています。

(2)住民が考える主な地域の”魅力”と”課題”

静かで住みやすいまちとの評価があります。祭典や昔からの行事もなく、適度の交流が図られ、災害や防犯上も安心感があります。掛川駅にも比較的近く、銀行、医院、スーパー等が近くにあり、生活環境も良いです。しかしながら、高齢化が進み、坂が多く、町内の移動に労を要する地域になりつつあります。また、免許証返納で、車が利用できなくなるとバスの便も少なく生活に不便をきたす人も出始め、不安があります。

5 将来像と目標

(1)将来像 「住んでみたい、住み続けたいまち葛ヶ丘」

(2)分野別の主要目標

- ・健康福祉部: みんなが健康で、助け合いで暮らすまち
- ・教育・文化部: 子供も大人もわきあいあい葛ヶ丘
- ・生活・安全部: 安心で住みよいまち葛ヶ丘

6 分野別事業

健康福祉部

◇ 課題

クラブ・サロン・サークルなどの活動が盛んで、生きがい、交流、健康づくりと地域に大きな役割を果たしています。しかし、高齢化による会員の減少や生活・健康面で不自由をきたす高齢者の増加が課題となっています。

一方、子供を持つ世代の家族は少数であり、地域との関りが薄いのが現状です。生活の上で年齢層を超える子供も含めた住民のちょっとした手助けにより、子供たちは思いやりや優しさなどを育み、互いに助け合いで安心して生活することができるまちになると考えます。

◇ ビジョン

みんなが健康で、助け合いで暮らすまち

◇ 目標・具体的活動

- ・ 各クラブ・サークルへの若い人の参加を呼びかけ、活動を活性化
- ・ 手助けボランティア(家庭周り片付けや生活時にちょっと困ったことへの支援)による生活の不便・不安の解消
- ・ 交流の促進により敬老会対象者の参加率向上

◇ 新規事業・見直し事業の計画

事業内容	説明	R2	R3	R4	R5	R6	R7
お助け隊	生活での簡単な困りごとの解決・支援をボランティアが行う	検討実施					

教育・文化部

◇ 課題

少子高齢化が進み、また核家族化が進展し、家庭はもとより地域や社会においても世代間交流の機会は減ってきています。子供たちが育っていくうえで地域とのつながりは欠かせないものです。

高齢者が持つ知恵や英知、ものの考え方や解釈を子供や若い人に伝えることが大切であると考えます。子供たちと大人が触れ合う機会を創造し地域一体となって、地域をよくするよう取り組む必要があります。

◇ ビジョン

子供も大人もわきあいあい葛ヶ丘

◇ 目標・具体的活動

- ・気軽に集まる場所づくりと世代間交流促進
- ・三世代がともに過ごす時間を増す
- ・夏祭りで三世代の交流を促進する

◇ 新規事業・見直し事業の計画

事業内容	説明	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学びのバスツアー事業	社会勉強と合わせ子供及び三世代の親睦を深める	検討					
		実施	→				

生活・安全部会

◇ 課題

いつ発生するか分からない東海地震に備えて、女性及び将来を担う子供達に防災についての知識を習得させる必要があります。

車社会における子供達の交通安全、変質者から子供を守る為、下校時の見守りが必要となります。

地域や、各家庭に潤いを与える花・緑化の推進も重要です。

現状の広報紙を充実させて、まちづくり協議会の動き、自治会の動き等をタイムリーに発信させる必要があります。

◇ ビジョン 安全・安心で住みよいまち葛ヶ丘

◇ 目標・具体的活動

- ・防災の人材育成(女性)、意識の高揚(子供)
- ・学童の下校時、通学路の見守り
- ・女性視点の防災訓練・対策
- ・花いっぱい皆が交流
- ・広報誌によるまちづくり情報提供
- ・文化祭での交流促進

◇ 新規事業・見直し事業の計画

事業内容	説明	R2	R3	R4	R5	R6	R7
子供防災体験事業	地震体験や避難所での生活などに必要なことを学ぶ	検討 実施					
広報誌の充実	まちづくり協議会の出来事、各クラブ、サークル活動や催し物の案内等情報発信	実施					